

LIBORの公表停止とそれに伴う指標金利の変更に関して よくあるご質問

1. LIBORの公表停止とそれに伴う指標金利の変更全般について

(1) LIBORの公表停止について

No	質問(Q)および回答(A)
Q1	LIBOR(ライボ)とは何か？
A1	LIBOR(ライボ)とは、「London Interbank Offered Rate」の略称です。ロンドン市場での金融取引における銀行間取引金利のことであり、様々な金融取引において利用されています。(主要な5通貨「米ドル・英ポンド・スイスフラン・ユーロ・日本円」について公表されています)
Q2	なぜ、LIBORの公表が停止となったのか？
A2	2012年の不正操作事件を機に信頼性、頑健性が低下したことが背景となり、国際金利指標として適切ではないと判断されたことから、2021年3月にLIBORの運営機関のIBA (ICE Benchmark Administration) より、2021年12月末をもってLIBOR公表を停止する旨発表がありました。(米ドルLIBORの一部は2023年6月に公表停止となります)

(2) 当社の商品に適用される指標金利の変更について

※対象商品は「アクティブチャンスX」、「デュアルボックスX」、「到達力X」、「アクティブチャンス」、「デュアルボックス4」、「到達力W」、「ラップすけっち」、「積立力V」となります。

No	質問(Q)および回答(A)															
Q3	変更後の指標金利が適用されるのはいつからなのか？															
A3	適用開始日は2021年10月1日です。(2021年9月30日までは変更前の指標金利が適用されます) ※指標金利が適用される日とは、例えば新たに契約にご加入いただく場合、当社が一時払保険料(相当額)を受領した日となります。															
Q4	なぜ、LIBORを指標金利に用いていたのか？															
A4	LIBORは幅広い金融商品や取引において利用されている金利指標のため、当社商品の指標金利を算出する際にもその市場慣例に則り、LIBORを指標金利を構成する項目の要素の一つとして使用していました。															
Q5	指標金利とLIBORの公表停止はどのように関係しているのか？															
A5	LIBORの公表停止に伴い、指標金利を構成する項目のうち参照先がLIBORの公表停止の影響を受ける場合は見直しを実施。その結果、影響を受ける項目のうち、代替がない項目は削除し、代替が可能な項目については代替指標を用いることとしました。 代替指標の使用については具体的には、指標金利を構成する項目中の金利スワップレートや通貨ベーススワップスプレッドで用いる変動金利は、指標金利を構成する項目における通貨に応じて次のとおりとなります。															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標金利を構成する項目における通貨</th> <th>2021年9月30日まで用いる変動金利</th> <th>2021年10月1日以後に用いる変動金利</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>米ドル</td> <td>米ドルLIBOR</td> <td>SOFR</td> </tr> <tr> <td>ユーロ</td> <td>EURIBOR</td> <td>ESTR</td> </tr> <tr> <td>円</td> <td>円LIBOR</td> <td>TONA</td> </tr> <tr> <td>豪ドル</td> <td>BBSW</td> <td>BBSW</td> </tr> </tbody> </table>	指標金利を構成する項目における通貨	2021年9月30日まで用いる変動金利	2021年10月1日以後に用いる変動金利	米ドル	米ドルLIBOR	SOFR	ユーロ	EURIBOR	ESTR	円	円LIBOR	TONA	豪ドル	BBSW	BBSW
指標金利を構成する項目における通貨	2021年9月30日まで用いる変動金利	2021年10月1日以後に用いる変動金利														
米ドル	米ドルLIBOR	SOFR														
ユーロ	EURIBOR	ESTR														
円	円LIBOR	TONA														
豪ドル	BBSW	BBSW														

No	質問(Q)および回答(A)
A5 (続)	<p>※SOFR とは、Secured Overnight Financing Rate(担保付翌日物調達金利)の略称です。</p> <p>※ESTR とは、Euro Short-Term Rate(ユーロ短期金利)の略称です。</p> <p>※TONA とは、Tokyo Overnight Average Rate(無担保コールオーバーナイト物金利)の略称です。</p> <p>※BBSW とは、Bank Bill Swap Rate(オーストラリア銀行間取引金利)の略称です。</p>
Q6	クレディ・アグリコル生命において、上記対象商品以外の商品も契約しているが、そちらは指標金利変更等の影響はないのか？
A6	対象商品(「アクティブチャンスX」、「デュアルボックスX」、「到達力X」、「アクティブチャンス」、「デュアルボックス4」、「到達力W」、「ラップすけっち」、「積立力V」)以外の商品には指標金利を構成する項目の要素として LIBOR を使用していませんので影響はございません。

2. 対象商品にご加入いただいている場合、ご自身の契約への影響について

No	質問(Q)および回答(A)
Q7	今回の変更で、2021年9月までに払い込んだ保険料に対する積立金に影響があるのか？
A7	<p><「アクティブチャンスX」、「デュアルボックスX」、「到達力X」、「アクティブチャンス」、「デュアルボックス4」、「到達力W」にご加入いただいているお客さま></p> <p>2021年9月30日までに当社が受領した保険料に適用されている積立利率に変更はないため、定額部分の積立金額に影響はございません。</p> <p><「ラップすけっち」、「積立力V」にご加入いただいているお客さま></p> <p>既に保険料をお払い込みいただいた部分(定期払込保険料を含みます)に適用されている積立利率に変更はなく、払込保険料に応じて定まっている各定額部分の積立金額に影響はございません。</p> <p>今後2021年9月までにお払い込みいただく定期払込保険料のうち、増額日が2021年11月1日より前である定期払込保険料については、変更前の指標金利により積立利率が設定されることとなります。この場合の定期払込保険料部分についても、上記と同様に積立金額に影響はございません。</p>
Q8	2021年9月までに保険料を払い込んだ保険契約について、2021年9月30日までに解約すれば、解約払戻金額の計算の際に変更前の指標金利が適用されるのか？
A8	解約日が2021年9月30日までであれば変更前の指標金利が適用されます。なお、解約日とは解約の必要書類を不備のない状態で当社が受け付けた日の翌営業日ですので、解約をご希望の場合は、遅くとも2021年9月29日までに完備された書類を当社が受け付ける必要がございます。(書類に不備がありますと、不備解消するまでご契約が解約されませんので、ご注意ください)